

※質問の全文を記載しています。  
※「問」については、議員が提出した通告書どおりに掲載しており、編集は行っていません。



答弁中の中嶋町長

子ども医療費助成制度拡充を

糟屋郡内統一で検討

問

中学3年生卒業まで医療費を無料に。  
県は8月4日の県議会厚生労働環境委員会で、来年10月より現行未就学児対象の医療費助成を小学6年生までに拡充すると発表しました。  
6月定例会の一般質問で、中嶋町長は、県が決定すれば可能になるかもしれないと答弁されました。糟屋地区町長

会の会長として、率先して中学3年生卒業までの医療費無料への決意をお聞かせください。

答 中嶋町長

前回の議会でもお答えしたとおり、町長会としては、昨年の12月ごろから検討に入り、糟屋郡は足並みを揃えて県の制度よりも一歩進んだ形で取り組んでいます。



児玉 求 議員

糟屋郡で統一する理由は、須恵町民のすべてが町内の医療機関にかかるわけではないからです。  
例えば、須恵町は一部負担、志免町は負担なしとなると、医療機関の対応が大変になるため、糟屋郡で統一しようというの

福祉

チャイルド・プア問題での講演会を須恵町主催で開催を

開催予定なし

問

NHK報道ディレクター新井直之氏によると、子どもの相対的貧困率は16・3%で、6人に1人、全国で約300万人。例えば3人世帯で手取り年収211万円、1人世帯では122万円を下回る世帯の割合とのこと。

子どもにとって学ぶ・遊ぶ・医療を受けるなど当たり前の生活が難しい状態です。子どもたちの現状を知り、苦しむ子どもたちを救うことが今後ますます重要な課題となっ

答 中嶋町長

チャイルド・プア問題での講演会を、町主催で開催する予定はありません。  
PTAあるいは育成会などの団体等にお声掛けいただき、PRしていただければ、必要とする団体もあるかと思えますので、よろしくお願ひします。

が町長会で話されている内容です。  
また、それぞれの町の財政的な問題もありますが、今後は、郡の担当者会において、

慎重に協議を重ねるよう指示しています。確たる時期には、議案として議会に提出させていただき、ご審議をお願いしたいと思っています。

教育

児童数変化に伴う学校体制の見直しは学校と協議を重ね対策を検討

問

近年、マンション等の増加、住宅団地の開発等により若い世代層の転入者が増え、それに伴い年少人口が増加傾向にあります。今後5年間の推計からも明らかです。そこで、児童数変化に伴う小学校の学校体制についてお尋ねします。  
特に第二小学校においては、来年度、現状の教室数では不足するのではと思われませんが、

その対策は。

また、来年度以降、校区再編成も含め、どのようにお考えかお尋ねします。

答 安河内教育長

本町の全小学校の児童数は平成27年4月現在で1784人です。その内訳として、第一小学校が635人で全体の35・6%、第二小学校が779人で43・7%、第三小学校が370人で20・7%です。



世利 孝志 議員

特に、第二小学校区では、宅地開発等により住宅が増え、今後も増加が予測されており、教室不足が懸念されます。そのため、学校と協議を重ね、対策を講じているところですが、平成28年度以降の人口

動態によっては、教室や特別教室を増築しなければならぬ状況が発生する可能性もあります。  
また、小学校区の再編成については、どの小学校にも教室に余裕がなく、今後の人口増加等を考えると再編の繰り返しになるのではないかと懸念するところです。  
このような事態を避けるためにも、学校体制について十分に検討していきたいと考えています。



平成26年に増築された第二小学校校舎